

サステナビリティ経営方針



和弘食品株式会社は **SUSTAINABLE SOUP COMPANY**（サステナブル スープ カンパニー）として事業を通じ環境保全・循環型社会の実現に貢献するとともに、自社を取り巻く全てのステークホルダーとの対話及び人的資本経営を強化し、北海道の恵みとともに新しい価値を創造・発信していくことで、「**ラーメンスープを北海道から世界へ**」の達成を目指します。

事業に影響を与える環境変化	Materiality（重要課題）	取り組み内容	主なステークホルダー
環境 <ul style="list-style-type: none"> ● 脱炭素に向けた社会変化 ● 自然災害の激甚化 ● 自然保護への規制強化 ● 循環経済の加速 	環境保全・循環型社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域・社会・環境に配慮した商品開発 ● 脱炭素・気候変動への対応 ● 廃棄ロス削減 	地球環境 株主 取引先 地域社会
社会 <ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少・少子高齢化 ● 価値観やライフスタイルの変化 ● 世帯構造・社会構造の変化 ● 働き方改革の進展 	北海道の恵みとともに ～共通価値の創造～	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道食材を活用した高付加価値商品の開発による食文化の魅力発信 ● サステナブルな原料確保に向けた技術開発 	取引先 地域社会
ガバナンス <ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーンの見直し ● 新型コロナによる産業構造の変化 ● 消費者の情報収集経路及び嗜好の多様化 ● サイバー攻撃の増加 ● 企業の社会的責任に対する重要性の高まり 	人的資本経営の高度化	<ul style="list-style-type: none"> ● ハラスメントの撲滅 ● ダイバーシティの推進 ● 人材育成の強化 ● 働きやすい職場環境の整備 	従業員
	サステナビリティガバナンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンス・情報管理体制強化 ● ESG経営、非財務情報開示の強化 	株主 従業員 取引先

環境

私たちは地球環境問題を経営上の重要な課題の一つとして認識し、持続可能な社会の実現に向け、事業活動において環境保全および汚染の予防に取り組みます。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・ 冷蔵・冷凍不要な常温保管スープ製品の開発・販売
- ・ サステナブル包材の導入
- ・ 太陽光発電等再生可能エネルギー導入の検討
- ・ 消費期限の長期化によるロス抑制



経済・ガバナンス

私たちは、経営の客観性・透明性を高め、コンプライアンス体制の強化・充実を推進することを通じて、企業価値の向上を目指します。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・ FSSC22000に準拠した衛生管理・品質管理
- ・ 災害用備品の充実や安否確認ツールの導入・強化による安全性向上



重要課題	取り組み内容	目標とKPI
環境保全 循環型社会の実現	地域・社会・環境に配慮した商品開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2026年度までに廃棄ロス抑制に寄与するアップサイクル商品を5件開発する ■ 2025年度までに当社としての方向性を定め、方針に沿って2030年までに順次変更する
	脱炭素・気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2026年度までに紙使用量を2024年度対比で10%削減する ■ 2027年度までにscope1・2におけるCO2排出量を可視化し、2019年度比の削減量を決定する
	廃棄ロス削減	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2030年度までに廃棄物量を2024年度比で50%削減する

重要課題	取り組み内容	目標とKPI
サステナビリティ ガバナンスの推進	コンプライアンス・情報管理体制強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2025年度までに全社の情報セキュリティ管理ルールを全面刷新する
	ESG経営、非財務情報開示の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2027年度までにサステナビリティレポートを策定する

私たちは、持続可能な世界を目指し、社会からの期待に応え、企業市民としての責任を果たすために人権を尊重し、誰もが安心して働ける環境をつくとともに、事業を通じた社会への還元を行ってまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- フレックスタイム、テレワーク勤務、育児休業等、多様な働き方に対応した制度の推進
- DX化の促進による付加価値の高い働き方の推進
- 勤怠管理の強化による、適切な労働時間の推進
- 地域イベントの積極的な参加および支援活動の強化
- こども食堂やフードバンクを通じた食品支援



重要課題	取り組み内容	目標とKPI
北海道の 恵みとともに ～共通価値の創造～	北海道食材を活用した高付加価値商品の開発による食文化の魅力発信	■ 2027年度までに「北海道の恵みシリーズ」として6品の販売を開始する
	サステナブルな原料確保に向けた技術開発	■ 2030年度までに産学官連携による研究にもとづく技術開発を5件行う

重要課題	取り組み内容	目標とKPI
人的資本経営 の高度化	ハラスメントの撲滅	■ 毎年度2回ハラスメント研修を実施する
	ダイバーシティの推進	■ 2025年度以降、育児休業取得率70%を実現し、維持する ■ 2026年度までに、女性管理職割合5.0%を実現する
	人材育成の強化	■ 2026年度までに、海外市場開拓の知見がある専門人材を1名以上採用または育成する ■ 毎年度4回リーダー人材育成のための研修を実施する
	働きやすい職場環境の整備	■ 2027年度までに、人事評価制度のブラッシュアップを行う ■ 毎年度組織診断を実施し、従業員のエンゲージメントを把握する